

国民・政府・民間をつなぐ「マイナポータル」でフリーランスのセーフティーネットを

デジタル・ガバメントのカギを握るマイナポータルの活用

森信茂樹 東京財団政策研究所研究主幹

デジタル・ガバメント、デジタル庁の創設など、菅政権の下で2020年12月27日デジタル社会への対応が進みつつある。重要なのは、行政のデジタル化は「手段」であり、便利な手段を活用してどのような「政策」を構築するかということである。この原点を忘れてはならない。

■ コロナ対策で使われなかったマイナンバー

マイナンバー制度が大きく変わろうとしている。きっかけは新型コロナ問題で、国民全員に配る特別定額給付金の支給遅延をきっかけに、マイナンバーの問題点があぶりだされたことだ。

デジタル・ガバメントを標榜しマイナンバー制度の導入などを進めてきたわが国だが、その内実は、ばらばらの設計や縦割りの組織などで、緊急時には役に立たないことが国民の目にも判明した。

急遽6月に菅官房長官の下「マイナンバー制度及び国と地方のデジタル基盤抜本改善ワーキンググループ」（以下、ワーキング）が立ち上がり、筆者もメンバーとして参加した。月一回程度の議論を経て、2020年12月11日に「報告書」と新たな「工程表」を了解し、21日の閣僚会議で正式決定された（[こちら参照](#)）。

なぜコロナ禍でマイナンバーが使われなかったのか。その理由は、マイナンバーを活用できる範囲が「税」「社会保障」「災害」の3分野に限定されており、予算措置だけで対応されたコロナ給付金（特別定額給付金）はその範疇に入らなかった（利用事務に該当しなかった）ということである。

3分野に限定されたのは、国民のプライバシーへの懸念などで活用範囲をしばらく得なかつたからだ。給付金については、今後法律改正を経て活用できるようにするようだが、活用範囲は限定するという政府の方針は変わらない。



特別定額給付金の申請書の発送作業をする市職員たち。職員同士が対面にならないよう配置されていた = 2020年5月7日、岐阜県中津川市

もう一つ、カードによるオンライン申請がなぜ機能しなかったのだろうか。これは申請と住民基本台帳との突合に手間がかかったため、と説明されている。

また本人の受取口座の確認に手間取ったこともあげられる。申請に記載された口座の実在確認ができず、誤入力の場合には個別連絡となった。住民基本台帳は漢字、銀行の振込先名義はカタカナなので、機械的な突合は難しいという事情もあった。

ワーキングでは、デジタル・ガバメントの構築に向けて様々な課題を総ざらいし、問題点の指摘や今後の課題などを「報告書」にまとめ、「工程表」も新たに作成した。それに基づき来年以降必要な法律改正を行うこととなった。

以下、ワーキングで筆者が主に担当した「マイナポータル」に的を絞って書いてみたい。

「国民」「政府」「民間」をつなぐマイナポータル

マイナンバー制度は、マイナンバー、マイナンバーカード、マイナポータルという3つのインフラからなる。

マイナポータルは、国民一人一人に設けられたWebサイトで、マイナンバーカードをリーダーに読み込ませてチップに内蔵された公的個人認証機能で本人確認して活用する。

自らの特定個人情報の確認や、行政（「官」）からのさまざまなお知らせを受け取ることができるのだが、番号そのものを使うわけではないので、マイナンバーのような厳しい用途制限から解放される。この点が重要である。

とりわけ、民間送達サービス機能を通じて、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）連携をすれば、民間事業者の様々なWebサイトとつながり、様々な情報の取得や行政への提出等を、オンラインで容易かつ確実に行うことが可能になる。

つまりマイナポータルは、「国民」「政府」「民間」をつなぐ「情報ハブ」である。

実はこのような機能は先進諸外国にも見当たらない。諸外国では、「国民」と「政府」を直接オンラインでつなぐ仕組みになっており、国民全員にポータルを作るという作りにはなっていない。

マイナポータルを使いやすくすれば、国民に、国や自治体と「つながってる感」が醸成され、デジタル政府・デジタル社会の下での安心感につながっていく。

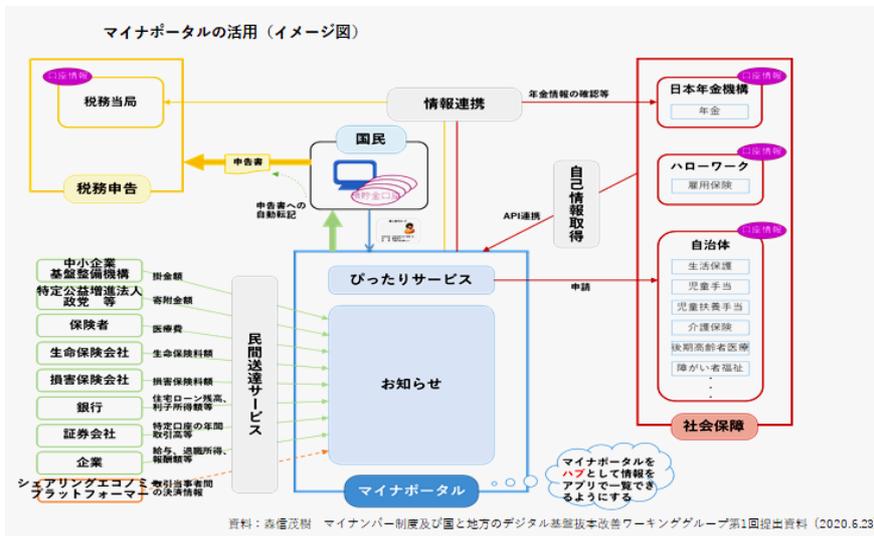
とりわけ筆者は、ギグ・エコノミーが広がる中、「報告書」に記述された「デジタル・セーフティーネット」の構築が重要課題と考えており、その構築に当たっては、マイナポータルが重要なカギを握ると考えている。

フリーランスのセーフティーネットの構築

ではどのような活用が考えられるのか、図表を参考にしながら解説してみたい。



マイナポータルのトップ画面。10万円給付の選択メニューがめだつ位置に = 2020年5月1日



働き方改革やギグ・エコノミーの拡大でフリーランスが増加しているが、プラットフォームを通じて単発の契約により労務を提供するギグ・ワーカーをはじめフリーランスのセーフティネットは極めて貧弱なことがコロナ禍で浮き彫りになった。また持続化給付金の不正受給問題も大きな社会問題となった。

フリーランスは、自分の仕事のスタイルで働くことができ、働く時間や場所を自由に選べるなど利点も多い一方、契約先とのトラブルの問題や、収入が不安定でセーフティネットも十分ではないという問題が、全世代型社会保障改革会議でも指摘されてきた。

筆者は、マイナポータルに、発注元との契約内容を登録させることで、トラブルの解消につながると考えている。

さらに、仲介型プラットフォーム経由で働くフリーランス（例えばフードデリバリーサービスの配達人）の場合、プラットフォームから配達人のポータルに収入情報を報告させる制度を構築していくことが重要だ（上の図の左下参照）。

そうならば配達人は、自ら受け取る収入の管理・記帳に役立てることができる。また彼らはe-Taxを通じて簡単に申告できるようになるので、申告水準の向上にもつながる。そのことが、持続化給付金のような制度の収入確認にも役立つ。

その上で、フリーランスのセーフティネットを考える際必要な所得の実態把握が可能となるのである。真に困った者、セーフティネットの必要な者を見つけ出すことができるのである。

さらには将来的な課題として、仲介型プラットフォームにそこで収入を得る者への源泉徴収義務を課すようにすれば、フリーランスにとって納税の際のキャッシュフローの問題から解放されることにもなる。

ワーキングの「報告書」には、「フリーランス等の契約情報のマイナポータルへの登録や、収入情報を仲介プラットフォーム経由で入手する仕組みについても併せ検討する」という記述がある。

このように、マイナポータルの活用は、民間の知恵や工夫が生かせる分野である。筆者は、マイナポータルを、個人の生活設計に欠かせない給与情報や年金情報などを集約した個人版家計簿の機能も持たせたいかと考えている。

デジタル社会の基盤となるマイナンバーカード・マイナポータルといった社会インフラを活用して、様々な制度を構築し、利便性の高い国や自治体のサービスの提供につなげ、あらたな民間ビジネス機会も提供していく。マイナンバー制度

を、真に官民共通の社会基盤にするために知恵を出し合うことが、わが国経済社会の活力の維持につながっていく。

* (参考) 森信茂樹編著「未来を拓くマイナンバー」(中央経済社、2015年)
論

コメント [利用規約](#)

コメントを入力する(最大500文字)

コメント投稿時には、利用規約を確認・同意したものとみなさせていただきます。

0/500

名前(任意30文字以内)

[規約に同意して投稿する](#)

人気順 ▼

no name ID: ea63c4

給付金支払遅延がマイナンバー(以下マイナ)問題だったというのは誤りだと思う。第一、マイナの普及は15%しかない。また郵便での申請はかなりのスピードで処理された。住民基本台帳とリンクのない電子申請システムを作ったのが間違いで、自治体が手作業に追われ混乱を招いた。送付された申請用紙には世帯主他の情報も記載されており、受付・支払作業も順調に進んだ。常識ある人が責任者であれば、最初から郵便だけにした筈。デ... [続きを読む](#)

👍7 🗨️0 [返信する](#) ツイート 10日前

no name ID: 88dbe5

個人の情報管理(外からのですよ)は簡便になるだろうが、最終的にそれが私たち庶民のための、所得の再配分や福祉の向上につながるのだろうか?今の政権を見ているとなかなかそのような気がしないのだが?
タイトルが何故か「マイナー」ポータルとなっているのも笑えない。わざとかな?

👍3 🗨️0 [返信する](#) ツイート 10日前

偽の問題 ID: 410d0d

フリーランスで働く人達に一定の収入保障を政府がすること、つまりコロナに関係なく一定以下の年収の人に定額給付金を配るのが必要。デジタル化はその為の手段のひとつであり、それ自体が目的ではない。マイナンバーは未来を拓きません。徴税がしやすくなるかもしれないが。

👍2 🗨️0 [返信する](#) ツイート 10日前

[>> 続きを表示 \(4件\)](#)

Powered by [ユーザーローカルAIコメント](#)

レコメンド (提供: Outbrain)



小室圭さんは留学で特別待遇されるのは当然だ
論座



小保方晴子さんを(今度こそ)忘れよう
論座

PR
いつでも力強い加速とスムーズな走りを発揮 新型ROOX誕生
日産自動車

PR
歯科医の給料が公開され、皆驚いています
Red Gobo

なぜファンは進次郎氏を見捨てたのか
論座

「愛子天皇」を語ることへのためらい
論座

Recommended by |

コメント0件

並び替え 最新

コメントを追加...

[Facebookコメントプラグイン](#)

掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.